

第429号 2017年7月18日  
弘前大学総務部総務広報課

**博士論文公聴会のお知らせ**

**博士論文公聴会開催のご案内**

下記の要領で弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会（予定）を開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

日時：平成29年8月24日（木）14：00～15：30

場所：理工1号館4階の7番講義室

学位申請者：Benioub Rabie(ビニョブ ラビ)

論文題目：リアルタイム重量モニタリングによるシリカの熱炭素還元反応におけるSiOガス挙動の研究  
(Study of SiO Gas Behavior during Carbothermal Reduction of Silica via Real-Time Weight Monitoring)

問い合わせ先：弘前大学理工学研究科 機能創成科学専攻（併任） 伊高 健治

Tel: 017-762-7760

E-mail: [itaka@hirosaki-u.ac.jp](mailto:itaka@hirosaki-u.ac.jp)

**博士論文公聴会開催のご案内（再掲）**

博士論文公聴会を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

日時：平成29年8月3日（木）8:40 ～ 9:40

場所：理工学部1号館2F 2番講義室

学位申請者：小笠原 悠

論文題目：Dynamic Models with Spatial Conditions in Revenue Management  
(レベニューマネジメントにおける空間的状況を考慮した動的モデル)

問い合わせ先：理工学研究科 金 正道

TEL: 0172-39-3538

e-mail: [masakon@hirosaki-u.ac.jp](mailto:masakon@hirosaki-u.ac.jp)

**博士論文公聴会開催のご案内（再掲）**

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程安全システム専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催します。皆様のご出席お待ちしております。

日時：平成29年8月4日（金）12：40～14：10

場所：理工学部2号館2F, 11番講義室

学位申請者：李 修敏

論文題目：Development of Nanostructured Electrodes for Electrochemical Water Splitting（電気化学的水分解用ナノ構造電極の開発）

【問い合わせ先】

北日本新エネルギー研究所 官 国清

e-mail: [guan@hirosaki-u.ac.jp](mailto:guan@hirosaki-u.ac.jp)

イベントのお知らせ

一般社団法人 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門  
東北地区特別講演会「スポーツと移動ロボット」

URL <http://sites.google.com/site/robomech02/>

企画 ロボティクス・メカトロニクス部門

共催 弘前大学大学院理工学研究科

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア

開催日 2017年8月1日（火） 16:00～18:00

会場 弘前大学理工学部1号館5階 第10講義室  
(青森県弘前市文京町3)

<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/info/access.html>

プログラム

(1) 16:00～17:00

「つくばチャレンジャー日本中の大学から移動ロボットが集まって、  
市街地を自律走行させる公開走行実験ー」

講師： 油田 信一（芝浦工業大学 特任教授）

つくばチャレンジは、全国から研究者や技術者が集まって、移動ロボットに、つくば市内の遊歩道や公園、駅前広場などを約2kmにわたって自律走行させる公開の技術チャレンジである。つくばチャレンジでは、市民が日常的に使っているあるがままの環境で、ロボットが自律的に働くための技術を追求している。この種の技術開発のためには、実際の現場（実環境）でロボットを働かせて、どのような技術が必要かを見極め、また、実地での実験を通して、開発した技術の有効性や不足点を確かめていくこと、が不可欠である。その実験は、市民の安全を脅かすことなく、また、市民に迷惑をかけずに進めなければならない。本講演では、つくばチャレンジのアクティビティを紹介し、社会に受け入れられるロボット技術開発の進め方について検討する。また、実環境で働く移動ロボットの具体例を示し、ここで使われている技術について述べる。

17:00～18:00

「冬季スポーツの工学研究と地域の健康寿命延伸  
～冬季スポーツ科学研究推進センターの取り組み～」

講師： 鈴木 聡一郎（北見工業大学工学部機械工学科 教授）

北見工業大学は、積雪寒冷地域に立地する地方大学として、地域の健康寿命延伸や経済活性化を目標に、冬季スポーツ科学研究推進センターを設立しました。現在、アルペンスキー競技とカーリング競技を中心に、本邦のトップアスリートを工学研究でサポートし、オリンピックやパラリンピックでのメダル獲得を目指した取り組みを推進しているところです。この取り組みの社会的背景やこれまでの研究成果について紹介します。

参加費無料

申込方法 申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

問い合わせ先 佐川貢一 / 電話(0172)39-3691

Email: [sagawa@hirosaki-u.ac.jp](mailto:sagawa@hirosaki-u.ac.jp)

平成29年度 JSPS二国間交流事業共同研究/セミナー  
「地方大学生の地元就職の決定要因とその促進策」

本セミナーは、地方から都市部への人口流出が深刻な社会問題となっている日韓両国において、地方の若年者の地域定着の決定要因を明らかにし、若年者流出の抑制策を模索することで、日韓両国の地方労働市場と若者の就業意識に注目し、地方大卒者労働市場における需給のミスマッチについて、量的調査結果と若者地元就職と定住を促進する政策案を提案する場として開催いたします。お気軽にお越しください。

1. 日 程： 平成29年8月1日(火) 13時30分～16時30分  
平成29年8月2日(水) 10時30分～14時00分
2. 場 所： 弘前市民文化交流館ホール（8月1日）  
弘前大学人文社会科学部 多目的ホール(8月2日)
3. 主 催： 弘前大学  
後 援： 青森県・弘前市
4. 対 象： 100名(一般の方・行政関係者・学生)
5. 参 加 料： 無料
6. 申 込 み： 不要・当日の参加が可能
7. そ の 他： 分科会は通訳あり
8. 問い合わせ先： 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター  
住所：青森県弘前市文京町1 電話：0172-39-3198  
E-mail：[irrc@hirosaki-u.ac.jp](mailto:irrc@hirosaki-u.ac.jp) 平日10:15～17:00
9. プログラム

<8月1日>

13:30	開場		
14:00	開会・主催者挨拶 基調講演 「地方の若年労働市場 と雇用政策を考える」	●弘前大学人文社会科学部長 今井正浩 ●太田聰一氏 慶應義塾大学経済学部・教授	●司会 李秀眞 弘前大学教育学部 ・准教授
15:00	第1分科会 「地方大卒者労働市場 における需給のミスマ ッチ」	話題提供者 ●朴相雨 (Park Sangwoo)氏 慶北大学校経済通商学部・教授 ●李永俊 弘前大学人文社会科学部・教授 地域未来創生センター長	●司会 李秀眞 弘前大学教育学部 ・准教授
16:30	主催者挨拶・閉会	●地域未来創生センター長・ 李永俊	



<8月2日>

10:30	第2分科会 「若者の地元と就業に関する意識調査結果報告」	話題提供者 ●嚴昌玉 (Um Changok)氏 慶北大学校経済通商学部・教授 ●魯洸旭 (Ro Kwanguk) 氏 安東大学校経済学部・教授 ●山口恵子氏 東京学芸大学教育学部・准教授 ●李秀眞 弘前大学教育学部・准教授	●司会 李永俊 弘前大学人文社会科学部・教授
11:50 ～12:40	～休憩～		
12:40	セミナー統括		●司会 李永俊 弘前大学人文社会科学部・教授
14:00	主催者挨拶・閉会	●地域未来創生センター長・ 李永俊	

### 平成29年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル」開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院では、昨年度に引き続き、一般市民を対象にした「みんなで知ろう！がんフェスティバル」を開催します。がんになってもそれと共生できる社会の構築を目指し、がん患者やその家族の視点に立った情報提供を推進するとともに、広く一般市民に正しいがんの情報を提供します。

1. 日 時 平成29年8月27日（日） 12：00～16：30  
開場 12：00～  
開演 12：45～
2. 場 所 土手町コミュニティパーク多目的ホール  
〒036-8182 青森県弘前市大字土手町31番地  
TEL：0172-31-5755
3. 対 象 一般市民
4. 入 場 料 無料
5. 事 前 申 込 不要
6. 問 い 合 せ 先 弘前大学医学部附属病院 がん相談支援センター  
TEL：0172-39-5174（直通）

### 平成29年度第1回機器分析センターセミナーの開催について

機器分析センターでは、「核磁気共鳴装置（NMR）」に関するセミナーを開催します。

NMRとは、試料中で原子核のおかれている環境について種々の微視的な情報を得ることができる装置であり、特に、<sup>1</sup>H核や<sup>13</sup>C核による高分解能測定は、低分子量の有機化合物、無機化合物から生体関連物質にいたるさまざまな物質の微細な構造に関する詳細な情報を得ることができる装置です。

皆様の多数のご参加をお待ちしております。

- ◇ 日時 平成29年8月4日（金）
- 第1部（1次元・2次元NMRの基礎及びDELTA講習）
  - 時 間 : 9:00～12:00
  - 場 所 : 理工1号館5階 第10講義室
- 第2部（NMR装置を使用しての実習）
  - 時 間 : 13:00～15:00
  - 場 所 : 理工2号館1階 共通機器分析室1
- ◇ 講師 日本電子（株）SI販促NMRグループ主査 朝倉 克夫 様
- ◇ 対象 教職員，学生，一般の方
- ◇ 内容 <http://www.hirosaki-u.ac.jp/28438.html>
- ◇ 参加費 無料
- ◇ 申込 7月25日（火）までに，件名を「8/4NMRセミナー希望」とし，①名前，②所属，③役職，④連絡先（電話番号），⑤希望する実習内容（ある場合）を記載してメール（[kiki@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kiki@hirosaki-u.ac.jp)）にてお申込みください。定員に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。
- ◇ 担当 研究推進課 機器分析センター担当（内線3913）  
E-mail: [kiki@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kiki@hirosaki-u.ac.jp)

**「2017年 北東北女性研究者 研究・交流フェア」開催のお知らせ**

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の事業の一環として，北東北地域の女性研究者の研究シーズ発信や相互交流・ネットワーク構築の場の提供及び当該地域の女性研究者による共同研究グループの立ち上げや共同研究への参画等の研究活動の活性化を図ることを目的とした「2017年 北東北女性研究者 研究・交流フェア」を下記のとおり開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

- ◇日 時：2017年9月15日（金）12時30分～16時30分
- ◇会 場：弘前駅前公共施設ヒロロスクエア  
3階イベントスペース，4階市民文化交流館ホール  
（青森県弘前市駅前町9-20）

- ◇プログラム：
  - 12時30分～12時40分 オープニングセレモニー
  - 12時40分～13時40分 共同研究紹介・発表
  - 13時40分～14時40分 ポスターセッション  
（ポスターの種別：共同研究，一般研究，機関紹介）
  - 14時40分～14時55分 休憩
  - 14時55分～16時15分 ロールモデル講演会（2講演各30分，質疑応答20分）  
講師：  
青山 千春 氏  
（東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門 准教授）  
松八重 一代 氏  
（東北大学大学院環境科学研究科 教授）
  - 16時15分～16時30分 クロージングセレモニー



- ◇主 催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議
  - ◇対 象：北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議 構成機関の方々，あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク(仮称)構成機関の方々，テーマに関心のある方
  - ◇定 員：100名
  - ◇参加費：無料
  - ◇申込方法：9月5日(火)までに，件名を「9/15交流フェア参加希望」とし，①名前，②所属，③役職，④連絡先(メールアドレスと電話番号)を添えてメールまたはファックスで事前に申し込んでください。定員に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。  
申込時にいただいた情報は，本事業以外に使用しません。
  - ◇主 催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議
  - ◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室  
メール [equality@hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@hirosaki-u.ac.jp) 電話0172-39-3888  
ファックス0172-39-3889
- ※参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/4900.html>

**みちのく分析科学シンポジウム2017のお知らせ(再掲)**

主催 (公社)日本分析化学会東北支部  
共催 弘前大学大学院理工学研究科

期日 7月22日(土)  
会場 弘前大学創立50周年記念会館〔弘前市文京町1〕  
内容とスケジュール

依頼講演：13:40-14:20

1. X線吸収微細構造によるナノ粒子系の解析  
(弘前大学大学院理工学研究科) 宮永崇史

ポスターセッション：14:25-15:45

依頼講演：15:50-16:30

2. 電気化学センシングに基づく生体機能評価  
(東北大学大学院工学研究科) 珠玖 仁

表彰式：16:30-16:40

懇親会：16:50-18:50

参加登録費 無料

懇親会 弘前大学生協レストラン「スクーラム」，一般 3,000円，学生 1,000円

問合せ 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし  
〔電話及びFAX：0172-39-3573，E-mail：[nkt@hirosaki-u.ac.jp](mailto:nkt@hirosaki-u.ac.jp)〕



**経済産業省「産学連携サービス経営人材育成事業」  
「めざせ！じょっぱり起業家—大学生のチャレンジ2017—」中間報告会(再掲)**

経済産業省「産学連携サービス経営人材育成事業」は，教育機関においてサービス事業者とコンソーシアムを組成し，専門的・実践的なサービス経営教育プログラムを協働で開発することに対し，支援をおこなう事業です。この背景には，日本及び地方の経済成長を実現するためには，GDPの約7割を占めるサービス産業の生産性向上が必要であり，そのための人材育成が求められているものの，サービス産業の経営に特化した専門的，実践的な教育機関が不足しているという問題があります。

弘前大学では，昨年度に引き続き，本事業の採択を受け，「めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力をもつ中核人材育成事業」と題し，地方におけるサービス分野で活躍できる起業家を育成し，地域経済の成長の実現をめざします。

今回の報告会では、学生とサービス企業とのこれまでの活動を中間報告として発表し、皆様からのご意見をいただきたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成29年7月21日（金）14：30～16：30

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

3. 内 容： 学生とサービス企業との活動中間報告

— 連携企業先 —

①株式会社あおもり海山

②企業組合でる・そーれ（コミュニティカフェ）

③株式会社楽天野球団（東北楽天ゴールデンイーグルス）

④株式会社コンシス

⑤富士通株式会社および日産自動車株式会社（一般社団法人青森県発明協会）

（順不同）

4. 参加対象：本学学生，教職員及び企業・行政関係者

5. 参加費：無料

※参加人数確認のため、平成29年7月20日（木）までに申し込み願います。

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部

サービス経営人材育成事業事務局（総合教育棟2階）

電 話：0172-39-3978，3192

E-mail：[sjinzai@hirosaki-u.ac.jp](mailto:sjinzai@hirosaki-u.ac.jp)

## 弘前大学男女共同参画推進室 平成29年度第1回「さんかくカフェ」の開催について（再掲）

「さんかくカフェ」とは、参加者同士がお茶を飲みながら語り合うことを通して、男女共同参画に向けたよりよい支援等のあり方を考え、弘前大学の教職員や学生同士がつながることをめざすものです。

今年度1回目の「さんかくカフェ」は「性別にかかわらず働きやすい・学びやすいこれからの弘大～子育て・介護中の両立支援策～」と題して、昨年度「子育て・介護中の研究者支援制度」を活用された教員から話題提供をいただきます。また、今年1月に改正された子育て・介護中の職員が使うことができる休暇・休業等について人事課担当者からの説明や参加者間の情報・意見交換を行います。ぜひお気軽にご参加ください。

### 記

1. 日 時：平成29年7月20日（木）16:00～17:00

2. 場 所：弘前大学 大学会館2階・スクーラム

3. テーマ：「性別にかかわらず働きやすい・学びやすいこれからの弘大～子育て・介護中の両立支援策～」

4. 参加費：無料

平成29年度  
第1回さんかくカフェ  
弘前大学  
男女共同参画  
推進室

性別やライフステージにかかわらず  
働きやすい学びやすい これからの弘大  
～子育て・介護中の両立支援策～

昨年度「子育て・介護中の研究者支援制度」を活用した教員から話題提供をいただきます。また、今年1月に改正された子育て・介護中の職員が使うことのできる各種制度について人事課担当者から説明をいたします。子育て・介護との両立の大変さや支援策として関心ごとなどについて情報・意見交換を行いたいと思います。お気軽にご参加ください。

【日時】平成29年7月20日（木）16～17時  
【会場】弘前大学 大学会館2階 スクーラム  
【対象】弘前大学教職員・学生  
公募 無料

申し込み方法 先着順 定員20名

氏名・所属をご記入の上、7月13日（木）までに男女共同参画推進室宛てにメールでお申し込みください。

※2階さんかくカフェは11月7日（金）17～19時、「性別やライフステージに問わず働きやすい学びやすい これからの弘大～子育て・介護中の両立支援策～」をテーマに本館2階で開催予定です。

主催：弘前大学男女共同参画推進室  
PHONE：0172-39-3888 E-mail：equality@hirosaki-u.ac.jp  
URL：http://www.hirosaki-u.ac.jp/equality/

5. 対 象：弘前大学教職員（学生も大歓迎）（定員20名・先着順）  
 6. 申込方法：「氏名」・「所属」をご記入の上、7月13日（木）までに下記宛てにメールにてお申し込みください。

参照 URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/4788.html>

申込み・問合せ先：弘前大学男女共同参画推進室

TEL：0172-39-3888

Email：[equality@hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@hirosaki-u.ac.jp)

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

### 弘前大学資料館第15回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第15回企画展「手製本の楽しみ 関典子製本作品展」を6月15日より8月26日まで開催いたします。今回の企画展は開館以来はじめて弘前大学卒業生の活躍を広く知っていただくものです。

伝統的な製本工芸，ルリユール。日本でも製本家や愛好者がおり親しまれていますが，あまり目にする機会もないため広く知られているとは言い難い分野です。

たいてい製本といえば印刷・出版関係を連想されることが多く，手仕事の一分野であることすら認知されていません。作品の展示と合わせて，ワークショップを行うことでより身近に感じてもらい，手製本の認知度を広め，興味関心を深めるきっかけにしたいと思っております。

みなさまのご来館をお待ちしております。



#### ○弘前大学資料館第15回企画展

「手製本の楽しみ 関典子製本作品展」

会 期：平成29年6月15日（木）～平成29年8月26日（土）

（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail：[jm3432@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3432@hirosaki-u.ac.jp)

### 平成29年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

#### 「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に，放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い，放射線を身近に分りやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日 時】 ● 第7回トレーナーズトレーニング  
 平成29年10月21日（土），22日（日）

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科  
 （青森県弘前市本町66番地1）



【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」

【対象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も受講できます。(先着20名)  
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時00分～17時30分

≪講義≫①放射線利用における看護職の役割

②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎

③放射線による健康影響とリスク

※1日目終了後に参加者と指導者による情報交換会を予定しております。

2日目：9時00分～13時00分

≪実習≫①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項(時間, 遮蔽, 距離)

③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策

撮影現場における線量の把握

注) 予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊(2016)をテキストとして無料配布します。

【申込方法】Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jriias.or.jp/>

【主催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】弘前大学大学院保健学研究科

\*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業(原子力人材育成等推進事業費補助金)」として3ヶ年計画(平成28年度～平成30年度)で実施しています。

【お問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ(担当: 柏村)

電話: 0172-39-5518 E-mail: [kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp)

## 学 内 掲 示 板

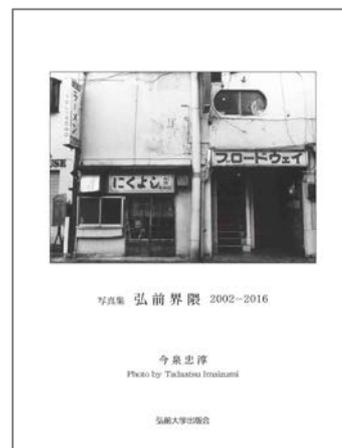
### 弘前大学出版会から新刊のご案内

医学研究科教授 今泉忠淳 著『写真集 弘前界限 2002-2016』(A5判, 52頁, 定価1,620円:税込)を出版しました。

～紹介文～

「近くて遠い歴史への誘い」

城下町の歴史ある風情を今も残す街, 弘前。そんな街並みのなかでも, 毎日前を歩いてははずなのに, 突然失われてしまうと, 何があったのか思い出せない風景があります。身近な日



常生活のなかにあったはずの景色は、ふとした拍子に遠くへと消え去ります。そうした「近くて遠い歴史」の数々を、鋭い観察眼で捉えたモノクロ写真の数々。手に取ってみると、「そういえばこんなあったよね」と街の記憶がよみがえります。5年ぶりの待望のシリーズ第4集。

ご興味をお持ちの方は大学生協または書店でお買い求め下さい。

#### 学長オフィスアワー変更のお知らせ(再掲)

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

##### 【中止】

平成29年 7月20日(木) 15:00～17:00

##### 【実施】

平成29年 7月21日(金) 15:00～17:00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課(秘書室) TEL:0172-39-3004

URL: <http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

#### 国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第43号」では、「特集 寄付と国立大学」において、本学・弘前市・弘前商工会議所の三者で設立した「学都ひろさき未来基金」が紹介されています。ぜひご覧ください。

(本学関連記事掲載) 「国立大学第43号」

<http://www.janu.jp/report/koho/43gou.html>

最新号「国立大学第44号」

<http://www.janu.jp/report/koho/44gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: [jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) FAX:37-6594 内線:3029